

あそびの森すみよし保育園  
平成 21 年度事業報告書  
(2009. 4. 1～2010. 3. 31)

1 概 要

幼保の一元化やさらに保育の多様化によって、保育の需要も大きな変化をしてきています。新発田市でも、待機児童の増加や保育時間の延長や一時保育などの子育て支援の需要が大きくなり、それを受けて、民設民営化により開園しました。

民設民営化によりこどもたちにとって保育環境が大きく変化したこともあり、新発田市及び保護者との連携を図りながら、こどもたちの安定を第一に保育を行いました。職員も新発田市立保育園の臨時職員から半数を採用したことにより、比較的スムーズに移行することができました。また、保護者の民設民営化に対する不安を取り除けるように、逐次アンケートを実施しました。

また、子育て支援については、デイサービス・園開放に積極的に取り組み、デイサービスは年間のべ 286 組、園開放については年間のべ 505 人の親子が参加するに到りました。

2 職員の状況

職員の状況 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

職名	園長	主任保育士	主事保育士	保育士	調理員	保育補助	事務員	計
常勤	1	1	1	19	2			24
非常勤				1	2	8	1	12
合計	1	1	1	20	4	8	1	35

※ 常勤については、一日 6 時間かつ週 5 日以上勤務の職員

※ 嘱託医・嘱託歯科医は、それぞれ兼任契約をしている

3 保育の実践内容

保育目標に沿って、目指すこどもの姿を具体的に実現するために以下のとおり保育の実践に努めました。

(1) 明るく健康で、生活力のあるこども

運動、休息、規則正しい習慣、態度を身につけるために、「歯磨き教室」「親子歯磨き教室」「プール遊び」「サッカー教室」を含めた行事と日常保育の中で、規則正しい生活を身につけられるように保育を行いました。

(2) やさしく、思いやりがあるこども

「敬老の日のつどい」「卒園式」などの行事の中で、家族をは

じめとした身近な人に感謝の気持ちを伝え、ともだち同士での対話をしながら、自分の意見と人の意見を調整する力を付けられるように配慮をしました。

(3) 健康で、生活力のあるこども

当番活動を重視し、給食配膳などの日常生活の中で、ともだち同士で協力し合い、達成感を十分に感じられるように保育を行いました。

(4) 自然を愛し、豊かな感性をもったこども

園庭菜園を自分達で整備し、種苗植栽から収穫まで自分達の手で行いました。また、花壇整備などにも取り組み、卒園式、入園式に使用した花も自分達で育てました。

園庭についても、できるだけ自然のままを重視して、季節ごとの動植物に触れられるように配慮しました。

(5) 思ったこと、感じたことを伝え合い意欲をもつてのびのび活動できるこども

朝の会や誕生日会など、一人ひとりが表現をする機会を積極的に作り、ともだちの前でも、自分の感じたことなどを伝えられるように環境を設定しました。また、保育士が一人ひとりの考えたことや感じたことを受け入れるように留意したことで、早期にこどもたちと安定した信頼関係が築けました。

#### 4 施設整備

(1) 安全衛生対策

① 光学式温度計の導入

新型インフルエンザの急速な拡大により、病変の早期発見が重要になり、光学式温度計の導入により、検温の回数や対象人数を全園児に増やすなどの対応ができ、そのほかの感染症についても、早い段階での有効な対策がとれました。

② AED の導入

施設整備強化費の申請を行い、最新のこども兼用 AED の導入を行い、同時にメーカーによる AED 講習を全職員が受講しました。

(2) 防災対策

① 除雪機の導入

大型寒波の影響で、一日の降雪量が多く、登園時及び降園時に安全に園内に入ることができるように、また、周辺道路、駐車場が雪害で使用ができなくならないように、除雪機を購入し、職員総出で除雪を行いました。

した。

② 防災用品の購入

災害に備え、簡易浄水用品、50名分のエマージェンシーシート及び、初動災害対策用品を購入しました。全園児が災害発生時に保護者の迎えが来るまで対応ができるようにしました。

(3) 保育環境充実

① 園庭全面芝化

鳥取方式による園庭の全面天然芝化を図り、植栽を行いました。県内初めての保育園による鳥取方式の導入により、マスコミにも取り上げられました。

② 園庭菜園・花壇整備

園庭菜園・花壇の整備を行い、子どもたち自身でいろいろな植物に触れられるように整備をしました。

③ アスレティック遊具の導入

創造的な遊びを促すために、木製のアスレティック遊具を導入しました。

(4) 自然環境対策

① 太陽光発電の導入

東北電力のグリーン電力基金の助成を受け、ソーラーパネルを設置し、保育園全体の電力を補助し、CO2排出を抑えるようにしました。

5 職員研修の充実

(1) 内部研修

実施月日	研修の名称	研修内容
H21/4/2	着任研修	法人方針研修・保育方針研修
H21/7/1	園内研修	仕事への取り組み方・法人方針研修
H21/7/30	AED講習	メーカーによるAED講習
H21/8/18	学園内研修	幼児体育体操研修
H21/12/26	フレッシュ研修	新卒者対象法人方針研修
H21/12/27	学園内研修	制作活動研修
H22/3/30	1年研修	保育方針研修
その他(適宜)	園内研修	保育力向上のための研修

(2) 園外研修

実施月日	研修の名称	研修内容
H21/6/10	新発田市保育連絡協議会保育交流会	保育見学、意見交換会

H21/6/13	新潟県保育士会研修会	講演会（母親の重要性について）
H21/6/17	パワーアップセミナー	保育士の心得・保育中の思わぬ怪我病気の判断と対応
H21/6/18	パワーアップセミナー	保護者支援、カウンセリングについて
H21/7/15	新潟県障害児保育研修会	実践上の問題点や解決法を学ぶ・障害児への対応
H21/7/12	新発田市保育研究会	実技講習会（たらこダンスの実践）
H21/8/4	新発田市保育連絡協議会保育交流会	保育見学、意見交換会
H21/8/9	新発田市保育研究会	新保育所保育指針について
H21/10/21	全国保育所理事長、所長研修会	幼児教育の本質とは・保育行政の展望、制度改革と保育園の役割
H21/10/31	新潟県保育士会	新しい保育指針の下での保育と保育所運営
H21/12/26	同和教育研究総会	同和教育の実践発表、意見交換会
H22/2/2	新発田市保育連絡協議会保育交流会	保育見学、意見交換会
H22/2/15・16	新潟県保育所理事長、所長研修	保育行政の展望

## 6 主な行事

4月6日	入園式
4月20日から	個人懇談会
4月27日	歯科検診
5月1日	こどもの日のつどい
5月15日	交通安全教室
5月21日	親子遠足
7月7日	たなばたのつどい
7月14日	プール開き
8月3日から8月7日	プール参観
8月13日から8月15日	希望保育
9月16日	祖父母のつどい
10月9日	サッカースクール
10月31日	あきまつり

11月26日	親子子育て講演会
12月12日	みんなのはっぴょうかい
12月24日	クリスマスコンサート
12月29日	希望保育
12月30日から1月3日	年末休暇
1月8日	新年おめでとう会
1月28日	もちつき大会
2月3日	豆まき会
2月10日	交通安全教室
2月24日	お別れ遠足
3月3日	ひなまつり
3月17日から3月19日	CAP講演会
3月25日	卒園おめでとうのつどい
3月26日	卒園式
3月26日から3月31日	希望保育

毎月の定例行事

第2・4木曜日	園開放日
第3木曜日	お誕生日会
月1回	避難訓練・通報訓練

7 地域との連携促進事業及び子育て支援事業

(1) デイサービス事業の実績

当初は、保育園自体がデイサービスを実施している認知度が低く、利用者がいませんでしたが、園開放事業を通し広報しました。その結果、月を追う毎に利用者が増えていきました。8、9月は新型インフルエンザの影響で、利用制限を行いはしませんでした。利用そのものが減って利用人数に影響を及ぼしたと考えられます。

一方、利用者のほとんどが2回以上を利用する方で、月5回という制限では少ないと話される方も多く出ました。また、入園が決定した後に、デイサービスを利用し始める方もおり、年度後半の人数の伸びた要因として考えられます。

## (2) 園開放事業の実績

新設園ということもあり、7月までは順調に利用者を増やしてきました。8、9月は、新型インフルエンザ流行の影響で、利用者が激減しました。その一方で、毎回必ず参加している親子の方もいらっしゃいました。

8月は、職員にも羅感者が出て、園開放事業自体を行えない可能性があり、月2回の実施を1回に変更しました。そのため、8月は、極端に参加者が減りました。年度の後半は、毎回参加している方やロコミによる利用希望者が中心でした。

## 8 延長保育事業

不況の影響から、延長保育の利用者の人数などに変化が見られました。パート勤めをしている方は、一日当たりの時間も短くなっていく傾向がありましたが、一方で、正社員雇用をされている方は、一日当たりの時間が長くなっており、そのため、年度の後半にかけて、利用人数が増えたと思われます。